

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●大阪杯はラッキーライラックが優勝

4月5日(日)に行われた大阪杯(G I)では、ラッキーライラック(牝5歳/栗東・松永幹夫厩舎)が勝利し、2017年阪神ジュベナイルフィリーズ、2019年エリザベス女王杯に続く3つ目のG Iタイトルを獲得しました。牝馬による大阪杯勝利は2015年ラキシス以来で、G Iに昇格した2017年以降では初めてのこと。また2着にも牝馬のクロノジェネシスが入り、牝馬によるワンツー・フィニッシュは1998年(1着エアグルーヴ、2着メジロドーベル)以来、同レース史上4回目のこととなりました。

●原優介騎手がJRA初勝利をあげる

4月5日(日)の3回中山4日・第12レースではタイキダイヤモンドが1着となり、同馬に騎乗した原優介騎手(美浦・武井亮厩舎)は、JRA初勝利をあげました。3月1日(日)の初騎乗から数えて40戦目の初勝利で、これで今年デビューした新人騎手は4名全員が勝利したことになります。

●宮田敬介調教師がJRA初勝利をあげる

4月5日(日)の3回中山4日・第6レースではダンシングプリンスが1着となり、同馬を管理する宮田敬介調教師(美浦)は、JRA初勝利(延べ8頭目)をあげました。

●ガンコの競走馬登録抹消

2018年日経賞(G II)の勝ち馬ガンコ(牡7歳/栗東・武英智厩舎)は、4月8日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は36戦6勝で、今後は乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

●ウォーエンブレムが死亡

ウォーエンブレム(騾21歳)が、3月11日(水)に死亡しました。同馬は2002年にケンタッキーダービーとブリークネスSを含め米G1で3勝をあげ、同年のエクリプス賞3歳牡馬チャンピオンのタイトルを獲得。引退後は種牡馬として日本で供用されて、ブラックエンブレム(秋華賞)、ロープティサージュ(阪神ジュベナイルフィリーズ)、オールブラッシュ(川崎記念)などを出し、種牡馬から引退後は米ケンタッキー州の功労馬繋養施設オールドフレンズで余生を送っていました。

●東京五輪延期にともない開催日割・重賞競走を変更

東京オリンピックの延期にともない、本年度北海道開催の開催日割と重賞競走実施場が変更されました。1回函館・2回函館が6月13日(土)～7月19日(日)の計12日間、1回札幌・2回札幌が7月25日(土)～9月6日(日)の計14日間となり、函館スプリントSは6月21日(日)の1回函館4日、北海道新聞杯クイーンSは8月2日(日)の1回札幌4日、エルムSは8月9日(日)の1回札幌6日に実施されます。開催日数は前年より2日増となるものの、開催順序と重賞実施場は2019年と同様となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジャスティンが東京スプリント(大井)を逃げ切って重賞初制覇

東京スプリント(JpnⅢ、4月8日、大井、1200m)は、先手を取った3番人気のジャスティン(坂井瑠星騎手、牡4歳、父オルフェヴル)が、サブノジュニア(大井)に1馬身 $\frac{1}{4}$ 差を付けて逃げ切りました。単勝1.5倍で断然人気のコパノキッキングは2番手追走も直線伸びを欠いて5着、ノボバカラは7着、2番人気のヤマニアンプリメは競走中に鼻出血を発症して8着に敗れています。

●ミカエル・ミシェル騎手が短期免許最多勝記録を樹立

川崎に所属して1月27日から短期騎手免許で騎乗したミカエル・ミシェル騎手(フランス)は、最終日の3月31日までに30勝をあげ、地方競馬の1回の短期免許期間での最多勝記録を更新しました。

●新緑賞(笠松)は愛知のエイシンハルニレ【各地の主要3歳重賞】

新緑賞(4月2日、笠松、1600m)は、北海道から岩手経由で愛知に移籍した1番人気のエイシンハルニレ(牡、父エイシニアポロン)が、後続を4馬身引き離して逃げ切り勝ちを収めています。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ザチャンピオンシップスの初日が行われる

4月4日、11日の計2日間で8つのG1を含む16の重賞をまとめて行う「ザチャンピオンシップス」の1日目がオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われました。初日のメインレースとなるG1ドンカスターマイル(3歳上、ハンデキャップ、芝1600m)を制したのは斤量51.5kgのネットイヤー(牝6歳、父シープリング)。直線入り口でもまだ最後方にいましたが、外からぐんぐん脚を伸ばすと、内の馬群から抜け出したスターオブザシーズ(53kg)に0.5馬身差をつけて優勝しました。鞍上のJ. イネス Jr. 騎手と管理するW. ロシュ調教師(女性)はともにG1初制覇となりました。ネットイヤーは昨年3月のG3アスピレーションH(芝1600m)で重賞初制覇。今シーズンは昨年10月のG3アングストS(芝1600m)に勝ち、2走前にはG3アスピレーションH連覇を達成。続く前走3月21日のG1ランヴェットSはアデイブの4着でした。